

# 第4回 法華山谷川水系流域懇談会

## 議事骨子

事項	第4回 法華山谷川水系 流域懇談会	委員	18名中16出席 (うち代理出席1)
日時	平成24年10月31日 9:00~10:30	場所	兵庫県加古川総合庁舎 2階A・B会議室
内容	1. 開会 2. 議事 (1) 第3回法華山谷川水系流域懇談会議事骨子 (2) 総合治水推進計画の構成及び骨子について 3. その他(連絡事項) 4. 閉会		
資料	資料1 : 第3回法華山谷川水系流域懇談会議事骨子 資料2 : 法華山谷川水系河川整備計画(第3回懇談会からの変更箇所) 資料3-1 : 総合治水推進計画について(パワーポイント資料) 資料3-2 : 法華山谷川水系総合治水推進計画(アウトプットイメージ) 資料4 : 総合治水条例パンフレット 資料5 : 流域対策・減災対策指定施設(候補)一覧		

### 1 開会

配布資料の確認及び16名の委員の出席により懇談会が成立していることが報告された。

### 2 議事

#### 2.1 第3回法華山谷川水系流域懇談会議事骨子

事務局より各委員に確認・修正の上、公表された議事骨子の概要について報告があった。

## 2.2 総合治水推進計画の構成及び骨子について

事務局より「総合治水推進計画について」、委員より「法華山谷川水系の内水問題について」の説明があり、総合治水推進計画に関する協議を行った。主な意見は下記の通り。

### (1) 水田・ため池における浸透機能について

委) 条例には水田やため池に貯留機能と浸透機能を持たせることが記載されている。水田やため池は水を貯めるものであることから、浸透機能はやめ、貯留機能だけの記載にした方がわかりやすい。

事) 水田・ため池は、貯留機能に主眼をおいているが、条例上は、水田・ため池・その他の土地と並記しているため、貯留・浸透機能の並記となっている。水をはった状態での水田、ため池の対策としては貯留ということを取り扱う。

### (2) 枠組みについて

利害が異なる管理団体が総合治水を議論する仕組みについて

委) 法華山谷川の管理は県だが、川を取り込むように大池があり、この池の管理は水利組合が行っている。水利組合及びその操作によって影響を受ける上下流域の方々と県・市が協議する仕組みが必要ではないか。そのことを計画に入れるべき。

事) 現時点のアウトプットイメージには記載がないため、次回までに検討する。

様々な分野との連携について

委) 流域全体での対策であることから、河川だけでなく、砂防や農林等との連携が重要である。

事) 様々な分野から対策を行う必要があり、事務局としても農林等の関係部局も参加しており、連携を図っている。県民も含め、積極的に参画頂ければと思う。

地域の開発について

委) ミニ開発が盛んに行われ、その積み重ねで出水が増えてくるといったことに、何か方向性を示せないか。

事) ミニ開発はこれまでの行政指導でも苦慮している。今後は、土地利用の誘導規制等も含め、市と県で連携して、適切な地域開発となるよう努めたい。

### (3) 目標について

委) 資料3 - 2の5頁の基本目標が抽象的である。「ながす」、「ためる」、「そなえる」について具体的に記載する方がよい。

委) 浸水をなくすことが最終目標となるので、その具体策を示していければと考えている。

座) 河川整備計画では床上浸水をなくすという目標に向けて対策を立案してきたが、総合治水として目標とする具体的なレベルを決めておく必要があると考える。

事) 総合治水推進計画は、全国初の取り組みで、目標の考え方については、県として整理したい。

### (4) その他

委) 資料3 - 1の19頁のグラフについて、わかりやすく説明を加えた方がよい。

事) もう少し工夫し、見やすいものに変えたい。

### 3 その他（連絡事項）

- ・河川整備計画策定及び来年度の事業化に向けて、手続きを進めているところである。
- ・近々、現地の測量に入る。
- ・第5回法華山谷川水系 流域懇談会は、12月頃を実施したい。

### 4 閉会

「第4回法華山谷川水系 流域懇談会」が閉会した。

第4回 法華山谷川水系流域懇談会 出欠表

分野		所属	氏名	出欠
学識	河川	神戸大学大学院工学研究科准教授	宮本 仁志	
	環境	播磨ウェットランドリサーチ代表	松本 修二	
	歴史文化	高砂市教育委員会	清水 一文	欠席
地域住民	加古川市	東神吉町町内会連合会長	藤原 義昭	
		西神吉町町内会連合会長	松浦 芳樹	
		米田町町内会連合会長	大淵 俊彦	欠席
		志方町中地区町内会連合会長	松本 正義	
		志方町東地区町内会連合会長	熊谷 千昭	
		志方町西地区町内会連合会長	三村 修一	
	高砂市	荒井地区連合自治会長	網干 年明	
		伊保地区連合自治会長	濱野 和樹	
		米田地区連合自治会副会長	前田 清春	
		阿弥陀地区連合自治会長	長谷川 浩三	
農地・水利関係者	加古川市	加古川市ため池協議会連絡会 (富木地区環境保全協議会会長)	富木 攻	
	高砂市	塩市水利組合長	山下 泰男	
行政	加古川市	下水道部長	梅谷 誠一	
	高砂市	まちづくり部長	金子 博之 (代理 青田 邦泰)	代理出席
	兵庫県	加古川土木事務所長	土居 康成	

(敬称略、分野ごとに記載)